



あなたのねこちゃん、最近こんな様子は見られませんか？



以前より
軟便になることが
増えた…

耳や
目の上などが
赤く腫れて
いる…

もしかしたら **食物アレルギー** かもしれません。

どんな
病気？

食べ物に含まれる成分に反応し、皮膚や消化器などに症状が出る。

おもに、肉・魚などのたんぱく質や小麦などの炭水化物を、体が有害な異物とみなして起こります。成猫になるまで症状が見られなくても、フードで繰り返し同じ成分をとるうちに、突然アレルギー症状が出ることも少なくありません。



主な
初期
症状

- 皮膚が赤くなる、発疹ができる
- 皮膚をなめる、引っかくなどしてかゆがる
- 下痢をする、血便が出る

症状は、皮膚のかゆみなどが多く、顔や首を中心に、ほかの部位に出ることもあります。また、下痢など消化器に症状が出やすいのも特徴。猫によって皮膚と消化器の両方に出る場合と、片方しか出ない場合があります。



主な
治療

動物病院では、食物アレルギーと診断した猫に、アレルゲン（アレルギーの起因物質）になりやすい材料を除いた療法食を処方します。まず、ある1種類の療法食だけを数週間与えて、症状が改善されるか観察。改善された場合はその療法食を続けて、改善されなかった場合は別の療法食を試し、症状が出ないものを探します。この方法で完全に症状が出なくなるケースもありますが、アレルギーは体質なので、症状が改善されたからといって、一般のフードに戻すことは難しく、再発の可能性もあるため、一度食物アレルギーと診断されると療法食を続ける場合が多いでしょう。

主な
検査
方法

動物のアレルギー専門の検査センターで、人と同じようにアレルゲンごとの「IgE抗体」の量を調べる血液検査をして、アレルギー検査をすることが可能です。100%アレルゲンが特定できるとは限りませんが、特定できた際は治療に非常に有効です。食物アレルギーが疑われたときは、アレルギー検査を受けるか、かかりつけの獣医師とよく相談してみましょう。

ねこの病気、そこが知りたい! は「ねこのきもち」で連載中!

●こちらは、過去に掲載した記事を再編集したものです。

アニコム損保ご契約者が
マイページから定期購読を申込みと

2号 (2ヶ月分) **無料!!**

